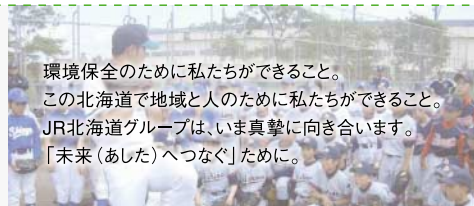


あした 未来へつなぐ

【地域共生を目的とした取り組み】



環境保全のために私たちができること。
この北海道で地域と人のために私たちができること。
JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。
「未来(あした)へつなぐ」ために。

写真・文＝本間 吾里砂

ファイターズ人気を受けて 少年野球教室を開催！「JR北海道野球部」

北

北海道日本ハムファイターズの活躍で北海道での野球人気が高まる中、道内唯一の企業チームとして奮闘する「JR北海道野球部」では、地域交流を目的に少年野球教室を開催しています。

それまでも不定期に開いてきましたが、四年ほど前から地域の少年チームへ積極的に呼びかけ、部の定例行事としてオフシーズンを中心に本格的な活動をスタート。



恵庭市えびら内にある屋外練習場や札幌市内にあるファイターズの屋内練習場で開催しているほか、要望に応じて道内各地にも出向いています。

野球教室の最大の魅力は、百四十キ台の速球を投げる投手や軽快に打球をさばく野手など、現役選手の姿を間近に見られること。今年から指導者向け講習会の充実を図り、JR北海道野球部のファン拡大とともに野球人口の裾野を広げたいと考えています。選手たちにとっても、子どもたちに基礎を教えることで、原点に戻れる“取り組みと好評！”



札幌ではファイターズの屋内練習場(上)で開くが、地方都市へは選手が出向いて指導にあたる。釧路にて(下)

平成十九年にはボランティア委員会を発足し、保育園や養護施設を訪問するなど、開いています。地域に根ざした野球チームとしてさまざまな活動を展開しています。

貸切バス”日ハム号”が大人気！ 地域の足として小・中型の路線バスを 札幌市内に投入「ジェイ・オール北海道バス」

優

勝パレードで選手たちを乗せた「日本ハムファイターズ号」は、ジェイ・オール北海道バスが

所有する球団公認の貸切バスです。四台のうち二台は選手の送迎用ですが、使っていないときは他のバス同様、広く一般に貸し出しています。窓ガラスに監督や選手のサインが入ったバスは、修学旅行ならおよそ二年待ちの人気。バスの運行を通して地元球団ファイターズを応援&PRしています。

路線バス部門では、大型バスが入れないエリアに三十人乗りの小型バスや五十人乗りの中型バスを投入し、公共交通機関としての使命を果たしています。



神出鬼没の“日ハム号”。選手が乗っていたらラッキー！

乗降が楽なノンステップやワンステップバス、環境にやさしいハイブリッド車やCNG(圧縮天然ガス)車など、時代のニーズに応じたバスを導入するなど、企業としての課題にも果敢かかんにチャレンジ！多様な取り組みを通して地域との絆を育んでいます。

①